

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・7月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の最終年

酷暑お見舞い申し上げます！ 備えあれば憂いなし！



今年は、2月の豪雪、7月の豪雨そして酷暑と、冬らしい冬、梅雨らしい梅雨、夏らしい夏それも強烈な気候がまさに私たちに襲いかかって来たようです。あとは、秋らしい秋となるのですが、それは台風です。秋季予想では、台風の到来もされているようです。しかし、相手は自然ですから、いくら私たちがバタバタしてもなるようにしかありません。それでも、それに対して想定外として対処するのと想定内と対処するのでは、被害に大きな差が出ます。大きなそして多数の台風が到来したとしてもそれに対応できるだけの備えをしておきましょう。まずは、避難袋の中身は大丈夫ですか、私は、先日学校生協のセットを注文しました。備えあれば憂いなしですが、どのくらいの備えをすべきなのかが分かりません。でも、台風が来ないことを祈っています。

2018年度6月 ▲374万円の赤字。それでも計画目標はクリアです！

石川県学校生活協の2018年度6月末現在の経常剰余金は▲374万円です。計画は▲689万円ですから315万円改善しています。残念ながら実績は赤字ですが、計画よりは改善、昨年同期よりは772万円の改善です。今年度の前期3か月としては、良かったかと安堵しています。しかし、この猛暑が売上げの足をひっぱらないかと心配しています。来年の3月末には、何としても黒字になっていなければなりません。

みなさんの石川県学校生活協です。石川県学校生活協をもっともっと利用してください。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

《学校生協と私》 東湊小 奥原 典子

子どもが生まれて、夕飯に忙しくなってきた頃、フレッシュの仲間入りをしました。冷凍食品、果物、子どものおやつはもちろんのこと、かわい雑貨や便利な商品を見るのが楽しみでした。土曜日の朝は早起きして、一人コーヒを飲みながらチラシを眺め、癒しの時間としていました。ついつい買いたくも……。子ども達も楽しみにしていて、品物が入った箱を見つけてると、何かいいものはないかな？と覗きこんで探していたのを思い出します。このように、買いたくできない日は、フレッシュの商品に本当は助けられませんでした。また、商品を持ち帰るのを忘れた事に気づいた仲間の先生が、そっと冷蔵庫に入れてくださったという温かい思い出もあります。十八年間、フレッシュ共同購入にお世話になりました。今は、教育図書や音楽CDをよく購入します。季節ごとの全員利用運動も楽しみにしています。ネットでの買い物も苦手な私にとって、とてもありがたいです。

今回、この原稿を依頼され、改めて「学校生協」の良さを実感することができました。理事としての役をさせていたくことになり、一人でも多くの組合員に、学校生協の良さを楽しみ分けたいと頑張りたいと思います。

編集後記 我が家の猫と犬のその後

時々、報告しています我が家の猫と犬の状況をお知らせします。まず、大きく変わったことから、あの野良猫の「ポン吉」がついに我が家に居座るようになり、連れ合いと一緒に寝るまでになりました。ポン吉は名前の通り雄猫です。おなかがすいた時だけ餌を食べに来ていたのですが、酷暑が続くようになってからは、我が家に居座り、時々出かけ、すぐに帰ってくるようになりました。もう我が家の飼い猫のようです。そして、このポン吉と犬が、仲が良いのです。不思議です。もう一匹の「ウーロン」という黒色のメス猫は、相も変わらずマイペースを守り、おなかがすいた時だけニャーニャーと鳴き、餌をねだりますが、それ以外は知らんふりの様子です。そして、家で一番涼しい場所を見つけて寝ています。だからなのか、犬とは仲が悪く、いつも追いかけています。(ほその)